

高崎市街地から榛名地区を抜けて、直接北軽井沢に至る道が「群馬県道 54 号線」です。軽井沢が渋滞しても、この道はまず混まないのです。私はよく利用しています。交通量が少ない分自然も豊かで、さまざまな野生動物に出会えるのも魅力です。この峠道で私が今までに出会った中・大型の哺乳類は、「キツネ」「タヌキ」「アナグマ」「ニホンシカ」「カモシカ」「ウザギ」「ツキノワグマ（幼獣のみ）」それに「ニホンザル」です。

「ニホンザル」（お猿）は、通常 10 頭前後の群で行動します。軽井沢では、FM 放送で「現在のニホンザルの群の位置」を放送しているほどです。二度上峠で今までに出会ったニホンザルもすべて群でした。しかしこの日に見かけたサルは、珍しく 1 頭だけでした。大きなオスのようです。県道の柵にどっしりと居座っていて、私が車を停めて写真を撮っていると、歯をむき出しにして威嚇していました。もしかしたらこのサルは群のボスで、「やい！仲間が通るんだから、さっさと車を移動させろい！」とイライラしていたのかも知れません。私も同じ顔をして威嚇してみましたが、この「サルは去る」・・・ことはありませんでした。

(2024 年 8 月中旬／二度上峠／群馬県高崎市郊外)

